

新潟市下水道事業におけるウォーターPPP導入に向けたアンケート調査

質問および回答

令和7年3月24日

番号	分類	質問	回答
1	VFM	管路のVFMをどう算出すればよいでしょうか。	VFMは導入エリアや業務内容を決定後に算出する予定です。 なお、ウォーターPPPガイドラインではレベル3.5の導入効果について「VFMだけではなく多様な効果を積極的に示していく必要がある」と示されていることから、定量的な効果であるVFMだけではなく、定性的な観点からも導入効果を検討します。
2	プロフィットシェア	管路についてプロフィットシェア導入の考えはありますか。仕様発注の場合、民間の創意工夫の余地が無い場合、プロフィットシェアの導入は無いと考えてよいでしょうか。	ウォーターPPP事業（レベル3.5）ではプロフィットシェアの仕組みの導入は必須となります。 管路施設は仕様発注から開始し、段階的に性能発注に移行することを検討していますが、仕様発注であっても公募時の提案も含め契約時に約束された計画や手法の変更により、プロフィットが生じた場合はプロフィットシェアを発動することを想定しています。 また、官民のシェア割合については1：1に決定しているものではなく、今回のアンケート調査を含め、今後のマーケットサウンディングの結果を参考にして決定します。
3	事業方式	管路について、更新実施型に移行する可能性はありますか。	現時点では管路施設の事業方式は更新支援型を想定していますが、最終的には今回のアンケート調査を含め、今後のマーケットサウンディングの結果を参考にして決定します。